



図書館だより

No.79
2009年10月

近畿大学学術情報リポジトリ *本公開から1周年*

近畿大学学術情報リポジトリは、近畿大学の教職員・学生などによる研究教育活動によって作成された学術研究成果（学術雑誌掲載論文、学位論文、科学研究費報告書、講義資料・教材、学会発表資料など）を収集・保存し、インターネットを通じて無償で公開するものです。2008年10月1日 本公開を開始しました。2009年9月現在のコンテンツは、計4268件(全文非公開の資料含む)です。

Google等の検索エンジンに加え、国立情報学研究所が運営するCiNii(論文・記事情報データベース)やJAIRO(学術機関リポジトリポータル)などを通じて世界中から閲覧することができます。

機関リポジトリの構築は大学や研究者、また社会にとってさまざまなメリットがあります。今後ともコンテンツを充実する予定です。

<http://kurepo.clib.kindai.ac.jp>

* 図書館システムリニューアル *

2009年9月16日(水)より、図書館システムがリニューアルされ、より便利になりました。携帯OPACやMyライブラリーなど、新機能も充実しました。



NEW OPAC

NEW Myライブラリー

旧OPACの「個人利用状況」がパワーアップ!

ログイン

【主な新機能のご紹介】

★返却通知サービス

返却期日の3日前にメールが届くように設定できます。

★貸出・返却履歴の参照

現在貸出中の本だけでなく、貸出・返却履歴を参照することができます。

NEW 携帯OPAC ※携帯電話で利用すると通信料がかかります

携帯電話からもOPACやMyライブラリーの一部機能が利用できます。

<http://mobile.clib.kindai.ac.jp/>



※ログインID・パスワードについて、詳細は中央図書館HPをご確認ください。 <http://www.clib.kindai.ac.jp>

* 図書館内パソコンの利用について *

図書館内の端末からもインターネットへ接続ができるようになり、Microsoft Officeアプリケーション(Word・Excel・PowerPoint・Access)を自由に利用できるようになりました。(一部使用できない端末があります。)端末は譲り合ってご利用ください。不明な点は各カウンターへ問い合わせてください。

端末の種別と利用方法

	自由利用端末 A (教育系ID・PWが必要)	自由利用端末 B (利用手続き:中央図書館3階メインカウンター)	OPAC専用端末 (ID・パスワード不要)
利用できるサービス	<ul style="list-style-type: none"> インターネット Myライブラリー Microsoft Officeアプリケーション (Word,Excel,PowerPoint,Access) など 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット Myライブラリー (一般公開利用の方は利用できません。) Microsoft Officeアプリケーション など 	OPAC(蔵書検索)のみ
備考	利用終了後は、必ずログオフして下さい。端末Bも同様。	通信教育部科目等履修生・卒業生・一般公開利用の方はこの端末をご利用下さい。	検索終了時は初期画面へ戻して下さい。

※学生・院生・通信教育部正科生(東大阪キャンパス):教育系ID・PWで自由利用端末、Myライブラリー両方が利用できます。

※教職員:自由端末の利用 → 教育系ID・PW(KUDOSで申請)

: Myライブラリーの利用 → MyライブラリーログインID・PW(中央図書館3階メインカウンターで申請)



電子ブックとは、インターネットなどを通じてデジタル情報として配信される書籍などの出版物を検索し、読むことのできるサービスです。詳細は中央図書館HPをご覧ください。なお、電子ブックを利用する前に必ず利用上の注意を確認してください。

※利用対象者

近畿大学に在籍の学生・院生、研究生等、および教職員

※利用できるキャンパス

近畿大学東大阪、農学部、医学部、生物理工学部、工学部、産業理工学部 各キャンパス内のインターネットに接続した端末

※サービス名

- ・化学書資料館
 - ・Gale Virtual Reference Library
 - ・JapanKnowledge+NR
 - ・OECD
 - ・NetLibrary
 - ・Wiley InterScience Major Reference Works
 - ・近畿大学学術情報リポジトリ
- (詳細は中央図書館HPをご覧ください)



3階 企画選書コーナー



平成21年度 第5回企画選書「城」特集

展示期間：2009年10月5日(月)～11月4日(水) 予定

「城」をテーマに歴史・建築・文学関連の本を選びました。

平成21年度 第6回企画選書 タイトル未定

展示期間：2009年11月6日(金)～11月末 予定

第16回 近畿大学中央図書館蔵書展 開催に寄せて、
関連図書を展示予定です。

第16回 近畿大学中央図書館蔵書展のご案内

2009年イタリアの科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を製作し天体観測をして、ちょうど400年にあたります。また、イギリスの生物学者チャールズ・ダーウィンの生誕200年、さらに自然選択による進化論を展開した彼の名著『種の起源』の出版150年でもある記念すべき年です。

そこで、今回の蔵書展は、天文学と生物学を中心に、後世に多大な影響を与えた15世紀半ばから19世紀にかけての貴重書を37点展示します。

また、11月15日(日)には、本学教員である理工学部生命科学科 藤川和男教授、理工学総合研究所 湯浅学教授によるギャラリートークも開催します。

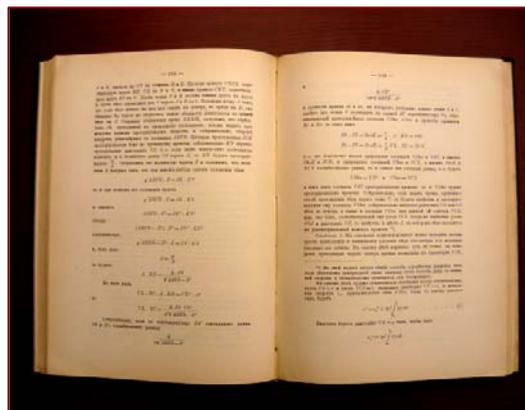
※ 開催場所：中央図書館2階 第1・2演習室

※ 開催日時：2009年11月13日(金)～11月19日(木)
10：30～19：00(日曜日は18：30まで)



ガリレイ「二つの宇宙体系についての対話(天文対話)」
フィレンツェ 1632年 扉絵

中央図書館3階 貴重書常設展示の紹介



ニュートン『自然哲学の数学的原理』ロシア語版
ペトログラード 1915-1916年

本書は、通称『プリンキピア』ともいわれたニュートンの名著のロシア語版で、翻訳者はアレクセイ・クルイロフである。運動の3法則(慣性・加速度・作用反作用)や万有引力の法則など、自身の研究と先駆者たちの研究を論理的に系統立ててひとつにまとめた大著であり、特に地上におけるガリレイの落体の法則と、惑星の運動に関するケプラーの法則を、万有引力というひとつの力学的な法則に統一したことは著者の最大の業績である。

Newton, Isaac (1642-1727)

「Matematicheskii nachala natural'noi filosofii, perevod s latinskago s primechaniiami a poiasneniiami A. N. Krylova, kniga 1-2.」

